

英会話AEON(以下、イーオン)では、報道関係の皆さまを対象に、英語にまつわるさまざまな話題をお知らせする「AEON NEWS」を発行しております。当社の活動をより深く知っていただき、ご取材の一助となれば幸いです。

英会話イーオンでは、新事業方針 2020を以下のように決めました。

「教室価値」×「EdTech」のハイブリッドにより、イーオンにしかできない学習価値を創造、提供していくこと。

イーオンでは、「語学教育を通して、お客様と従業員の人生を豊かにし、世界と日本で活躍できる人材を育成すること」をミッションとして定義しています。そしてその実現にむけて、今回、イーオンが目指すべき方向性を、これまで築いてきた「教室価値」と、最新のテクノロジーを融合した「EdTech」とのハイブリッドにより、イーオンにしかできない学習価値を創造、提供していくことと決めました。

EdTech市場 今後の見通し

「EdTech」とは「Education(教育)」と「Technology(技術)」を組み合わせた造語です。ITの普及が遅れていた教育業界でも、近年IT企業が続々参入、日々新たなサービスが開発されています。野村総合研究所(NRI)によると、Edtech市場の拡大余地はまだまだ大きいと考えられており、今後、公教育における情報端末の整備が進む2020年前後にかけては、主に児童・生徒向けの教科学習コンテンツが市場を先導し、2023年にはEdTech市場全体で約3,000億円に達すると見込まれています。

文部科学省が定義する「EdTech」とは～国が実現しようとしている公教育の未来像

- EdTechを「教育におけるAI、ビッグデータ等の様々な新しいテクノロジーを活用したあらゆる取組」と整理。
- EdTechは、児童生徒と教師にとって使いやすく、教育の質の向上につながるものでなければならない。

**EdTechの導入により「教育のスマート化」を実現。
 生徒には効果的な学びを、教師には効率的な教え方を**

児童生徒へ向けたEdTech

- ・スタディ・ログ等を蓄積した学びのポートフォリオの活用による自身の能力や特性に応じた「公正に個別最適化された学び」の実現。
- ・EdTechの活用により、人間関係や学習面など学校生活上の悩み等を見逃さずに発見。必要に応じて、きめ細かい支援が受けられる環境を実現。

教師へ向けたEdTech

- ・一人一人の児童生徒の基盤的学力や情報活用能力の習得状況の継続的な把握と迅速なフィードバックと、教師の気づきを組み合わせ、きめ細やかな指導を効果的に実現。
- ・学習指導・生活指導・学校経営など様々な場面でEdTechを使うことで、指導の質の向上と教師の負担の軽減を両立させ、より良い教育を実現。

参考)「Society5.0におけるEdTechを活用した教育ビジョンの策定に向けた方向性」
 文部科学省 新たな時代に対応するためのEdTechを活用した教育改革推進プロジェクトチーム

世界の「EdTech」市場は？

海外では、アメリカと中国におけるEdTechが盛り上がりを見せています。特に中国のEdTechスタートアップへの投資額はアメリカを抜き、近い将来、20.3億ドル(約2,030億円)に達すると言われています。

・学費の高騰で経済や生活環境による教育格差が拡大しているアメリカでは、オバマ政権下でEdTech普及に向けた積極的な政策を展開。テクノロジーの力で学生たちに学習機会を提供し、格差を埋めて全体を底上げしようとする動きが活発です。

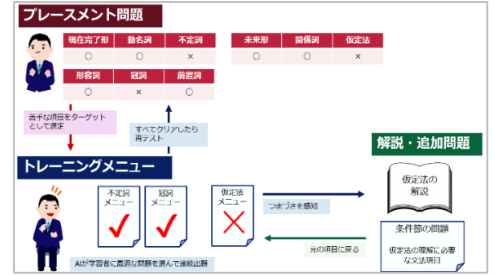
・中国政府は、長年に亘って、教育ICT化に取り組んでおり、そのための予算も年々増え続けています(4兆円超、教育予算の8%)。

英会話イーオンが進める「EdTech」

イーオンでは、業界に先駆け、教育とICTを組み合わせた「EdTech」を推進し、ビッグデータとアナリティクス技術の活用による「生徒の上達に向けた学習効率の最大化」「英語学習を快適に行える場の提供」を目指すプロジェクト「イーオンデジタルトランスフォーメーション AEON DX」を進めています。

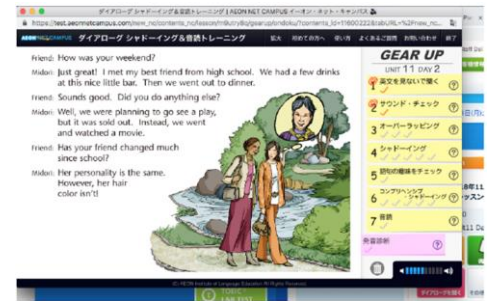
eラーニングシステム「AI Study Dessign ~Grammar編~」を導入

- AIが学習者の学習履歴に基づき問題を個別最適化することで、学習者それぞれの苦手な文法項目に絞った学習を実現。
- 学習分野が多岐に渡るため繰り返し総合的な学習を行うことが難しい英文法の学習を、学習者が無理なく、無駄なく、効率よく学べるようになります。



AIを用いた「日本人英語話者向け発音自動評価システム」を共同開発

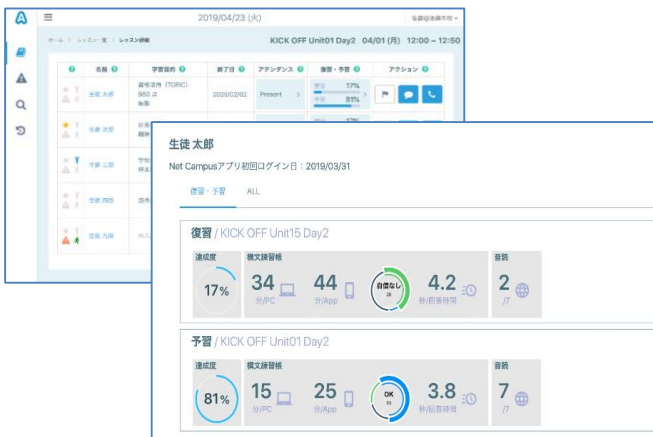
- 時間の限られたレッスン内でフォローするには限界がある発音指導を、自宅で効果的に行えるように。
- 生徒はPCやアプリでレッスンに沿った発音の自習が可能。AIが発音を点数化してくれるので、一人でも繰り返しの練習をすることができます。



生徒の能力や特性に応じた学習の個別最適化を実現

アプリでの学習履歴やスクールでのレッスンの進捗をデータ化する「AEON NOTE」導入

- カリキュラムと連動したスマホアプリで手軽に学習。
- レッスンの出席率や受講状況、自宅学習状況などをデータベース化。
- 取得したデータの分析結果を教師専用タブレット「AEON NOTE」で共有。教師はレッスン内外両方の学習データに基づき、きめ細やかなサポートができます。
- 出席率低下によるモチベーション低下の兆候、自習時間の低下による学習のつまづきなども拾い、新人教師でもベテラン教師と同様のサポートができるように。



指導の質の向上、さらに教師の業務負担軽減を実現